



Sagami Women's University

後援会会報

March.2021 No.52

相模女子大学 後援会 相模女子大学短期大学部

後援会会報 第52号

発行日/2021年3月18日 発行所/相模女子大学・相模女子大学短期大学部後援会

編集責任者/後援会事務局(大学事務部学事企画課)

住所/〒252-0383相模原市南区文京2-1-1 電話/042-742-1433 FAX/042-813-5022



目次

後援会からのお知らせ…………… 1～2	2021年度 出願可能な奨学金制度のご案内……………6
2020年度役員会報告／卒業生に袱紗をプレゼント／2020年度 事業報告／会員の住所変更について	お知らせ……………7
2020年度「就職に関する懇談会オンライン」開催報告…3	学修上(履修・成績)の留意点／保健センターより／学生相談 室より
アンケート結果	クラブ活動報告……………8
就職支援課より……………4	2020(令和2)年度 課外活動奨励賞受賞者一覧…9
就職トピックス／就職支援Q&A	2020(令和2)年度 科学研究費助成事業採択状況…10
大学からのお知らせ……………5	
2020年度秋学期の授業について／2021(令和3)年度 学年暦	

後援会からのお知らせ

2020年度役員会報告

役員会

日時:2020年9月26日(土)
場所:マーガレットホール4階 ガーデンホール

常任理事会 9:30～10:28

- 議事 ①今年度の後援会活動について(経緯説明)
②就職に関する懇談会について
③卒業記念品について
④防災用品について
⑤その他

理事会 10:35～12:25

- 議事 ①今年度の後援会活動について(経緯説明)
②就職に関する懇談会について
③卒業記念品について
④防災用品について
⑤その他

日時:2021年2月13日(土)
⇒緊急事態宣言の発令により書面形式で年度内に
実施となりました。

常任理事会

- 議事 ①2020年度事業報告(案)
②2020年度予算執行状況について
③2021年度事業計画(案)
④2021年度概算予算案について

理事会

- 議事 ①2020年度事業報告(案)
②2020年度予算執行状況について
③2021年度事業計画(案)
④2021年度概算予算案について

2020年度事業報告

相模女子大学・相模女子大学短期大学部に対する援助

① 教育研究活動の充実を図る

後援会図書購入助成費取扱要項に基づき電子書籍を購入し、学外からも電子書籍やデータベースを閲覧できるシステム「EZproxy」を附属図書館に導入しました。

② 学生の福利厚生の充実を図る

クラス会開催費として、経費の一部を補助しました。卒業式当日、卒業生一人ひとりに卒業記念品(P1参照)と、卒業記念パーティの代わりとして紅茶の詰合せを贈りました。

③ 学生の課外活動の充実と活性化を図る

コロナ禍によりクラブ・委員会活動が制限されましたが、1団体のクラブに対し、活動に必要な用品の購入を助成しました。

④ 学生の課外活動における顕著な活動を表彰する

課外活動の分野で顕著な活動をした個人・団体を大学が顕彰するのに伴い、卒業式で副賞を授与しました。(2020年度課外活動奨励賞の受賞者並びに表彰内容・理由は、9頁掲載。)

⑤ 学生の就職活動を支援する

就職に関する各種講座やイベントの経費の一部を助成しました。
・Zoomを活用した就職セミナー
・SPI模擬試験 ・保護者版就職ガイドブック等

刊行物について

会報51号を2020年10月に発行、会報52号を2021年3月に発行(今号)し、会員及び関係者に配付しました。

災害対策助成費について

地震等の災害時に大学に滞留せざるを得ない学生のための「非常用防災セット(2,000セット)」と、それを保管するための「防災コンテナ(2基)」を購入しました。

弔慰費について

会員のご不幸は、大学10名でした。会則により弔意を表しました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

その他

予備費(新型コロナ対策支援経費)より、ウイルス除去機能のある空気清浄機20台を購入し、カフェテリア・ティーラウンジ・3号館ラウンジ等、学生が飲食するスペースに設置しました。



後援会から

卒業生に袱紗をプレゼント

新社会人になる卒業生に、後援会より卒業記念品として本学校章が印字された袱紗を贈呈しています。



会員の住所変更について

本誌は、学生が、学修・生活支援課に届け出ている保証人住所宛に送付しています。保証人住所を変更される場合は、学生本人による手続きが必要です。詳しくは、学修・生活支援課へお問い合わせください。

問い合わせ先 学修・生活支援課 042-813-5069

2020年度「就職に関する懇談会オンライン」開催報告

大学及び短期大学部の保証人を対象とした「就職に関する懇談会」は、毎年学内で開催していましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、初めてオンライン(動画配信)での開催となり、344名の方に動画をご覧いただきました。

開催概要

動画配信期間

2020年12月7日(月)～2021年1月11日(月・祝)

配信内容

① 学長メッセージ

相模女子大学・相模女子大学短期大学部 学長 風間 誠史

② 講演「保護者向け就職ガイダンス ～就職環境と保護者の役割～」(約50分)

講師:株式会社マイナビ 副編集長 三浦 恵美

③ 内定獲得者へのインタビュー(約65分)

話し手:英語文化コミュニケーション学科 4年 横澤 実季
生活デザイン学科 4年 塩塚 みのり
管理栄養学科 4年 紺野 彩香

聞き手:夢をかなえるセンター 就職支援課長 武石 聡子

④ 報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」(約35分)

報告者:夢をかなえるセンター 就職支援課長 武石 聡子

オンライン開催にあたり、学内で2日間にわたり動画撮影が行われました。



「内定獲得者へのインタビュー」動画撮影の様子

アンケート結果の一部をご紹介します。

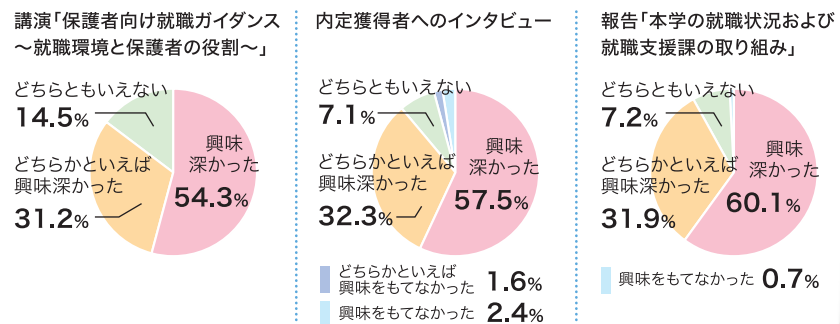
就職に関する懇談会 アンケート結果

動画をご視聴いただいた保証人のうち、143名の方からアンケートにご回答いただきました。

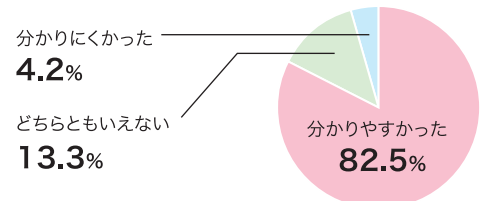
Q1.どのプログラムを視聴しましたか。(複数選択可)

講演「保護者向け就職ガイダンス ～就職環境と保護者の役割～」…… **96.5%**
報告「本学の就職状況および就職支援課の取り組み」…… **94.4%**
内定者獲得者へのインタビュー …… **88.1%**

Q2. 視聴したプログラムの内容について、当てはまるものを一つ選択してください。



Q3. オンラインでの開催にあたり、視聴者情報登録や動画視聴の方法は分かりやすかったですか。



保証人の方からのコメント

学生が真剣に就活に取り組んだ姿勢が素晴らしいと思った。我が子にも能動的に活動し、希望の企業に就職して欲しい。

オンラインによる懇談会は、自宅にて、都合の良い時間に視聴する事ができ、本当に有り難く思いました。また内容も分かりやすくとても参考になりました。この状況下での就活は、娘はもちろん私達も不安しかありませんが、学校の支援の取り組みを聞いて少し安心できました。

コロナ禍での就活に不安を感じていましたが、サポートをしっかりして下さる環境に安心いたしました。娘が頑張っている様子を見て不安でしたので、とても有り難い内容でした。

就職できるかできないかの不安はよぎるが、様々な話を聞くことができ、どのように動いたら良いのか、実際の話を受けて安心しました。内定が決まった学生さんの話がとても参考になりました。

本動画を保護者だけでなく、本人にも見てもらいたい。(理由:就職活動に無知なため、関心をもってもらいたいから)また、内定獲得者インタビューはすべての学科の方のインタビューがあるとより参考になると思いました。

就職支援課より

問い合わせ先

就職支援課 042-742-1734

就職トピックス

就職準備講座(秋学期)

〈対象〉大学3年生、短期大学部1年生

9月24日～12月24日までの毎週木曜日に「就職準備講座」を実施しました。コロナ禍での講座であるため、教室での実施ではなく全てZoomでの実施となりました。講座の内容によってはZoomの方が参加しやすいためか、例年より出席率が良い傾向がみられました。具体的な講座内容としては、秋学期以降の就職活動の進め方、企業の動向や採用動向について、就活メイク、自己分析(復習)、履歴書・エントリーシートの書き方、オンラインインターンシップについて、内定者の就活体験、面接対策(対面、WEB)、OGからの就活アドバイス、UIターン、業界・企業研究など、就職活動に実際に役立つ講座を行いました。

お仕事研究会

〈対象〉大学3年生、短期大学部1年生

11月～2月末にかけて合計8回、本学の学生を採用したいと考えている企業の採用担当者から業界の特徴や企業の魅力についてお話しいただく「お仕事研究会」を行いました。例年対面で実施しているものを全てZoomで実施し、学生たちは自宅からスーツを着用しての参加となりました。学生たちは積極的に質問をするなど充実した時間になったようです。また、初の試みとしてオンデマンド配信でのお仕事研究会も実施しました。

就職合宿について

〈対象〉大学3年生

例年1泊2日で実施している就職合宿ですが、コロナ禍では宿泊が難しいと判断し、今年度は合宿で重視しているグループディスカッションに焦点を当て、Zoomにて実施しました。コロナ禍での採用試験では、WEBを利用した面接やグループディスカッションが多くなってきており、それらに対応するために今回は「オンライングループディスカッション」の対策を行いました。外部の講師に指導をしてもらい、グループディスカッションの対策だけでなく、個別に指導をもらえるなど充実した講義となりました。さらには、その後、個別のWEB面接対策をZoomで行いました。

就職支援 Q&A

2022年3月卒業生の採用では、WEBを本格的に活用したWEB就職活動元年であると言われています。企業に直接足を運ぶ時間や交通費などの費用があまりかからないなどのメリットがありますが、直接企業の方に会えないため企業の雰囲気やわからなかったり、対面でのインターンシップの実施が減り就業体験ができなかったりしているなどのデメリットがあります。今回、WEBを活用した就職活動について多く寄せられるご質問について、Q&Aの形式でご紹介いたします。

Q. オンラインインターンシップには参加した方がよいでしょうか。

A. 興味のある企業であれば、ぜひ参加しましょう。働いている会社や社員の方と直接会うことはできませんが、WEBでの説明や体験する内容は今後の就職活動に非常に役に立ちます。企業によっては1日で終わるものから数日間に及ぶものがあります。授業やアルバイトの日程を調整しながら、ぜひ参加をしてください。

Q. オンライン面接について教えてください。

A. ZoomなどのWEBシステムを利用した面接のことです。面接会場に行くことなく、自宅面接を受けることができます。企業が指定するWEBシステムの使用方法、通信環境を事前にチェックするようにしましょう。また、自宅であっても就活スーツ着用は必須です(企業から私服の指定がある場合を除く)。就活メイクと就活スーツで臨みましょう。また、部屋の背景が映り込みますので、できるだけ背景が壁になるような場所、顔が十分に明るく映る場所を選びましょう。

Q. オンライングループディスカッションについて教えてください。

A. ZoomなどのWEBシステムを利用した集団討論(グループディスカッション)です。企業からテーマが与えられ、それについて企業が提示するルールのもと、10名以内のグループで30分程度討論を行います。グループ内で司会や書記、発表者などを決める場合が多くあります。WEBシステムを使うという以外、対面でのグループディスカッションと同様です。オンライングループディスカッションでは、発言するタイミングが非常に難しいです。ほかの人と発言が重なってしまうことが対面で行うよりも多く起こります。自身の発言の最後には「以上です」と言うことや、発言をしない場面ではマイクをオフにするなどの独特のルールがあります。また書記になった場合、タイピングやイメージ図の作成が得意であれば、討論と並行して画面共有をするなどの方法があります。対面とは異なるルールや雰囲気があるため、練習が必要です。

大学からのお知らせ

2020年度秋学期の授業について

教育担当副学長 山口 由紀子

平素は相模女子大学の教育研究活動にご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。年初より、首都圏などの各地域において緊急事態宣言が再度発出、延長され、会員の皆様には、緊張と不安の中で毎日をお過ごしのことと存じます。

本学では、今年度秋学期の授業は、各授業の性格を踏まえ、オンラインと対面の授業形態を併用して実施いたしました。「講義」科目は原則としてオンラインで、「演習・実習・実技」系の科目は対面授業を基本として、オンラインも活用しながら行うというものです。対面授業を行う際には、新型コロナウイルス感染症の感染防止について必要な対策を取り、事情により登校が難しい場合は、別途対応するよう配慮することとしました。

オンライン授業には、オンデマンド型(学修支援システム「manaba」を使い、授業の動画や資料、課題を提示して行う授業)と同時双方向型(Zoom等を用いてリアルタイムで配信する授業)があります。10月中旬に授業を開始し、1月末まで全13回を実施しました。

オンライン授業を実施する上で、授業環境を全学的に整備することが急務となっており、学内の通信環境の強化とともに、希望する学生へのPCおよびWi-Fiルーター貸与を秋学期も継続して行いました。そして、授業ごとに授業形態が異なるため、対面授業を受ける前後の時間帯に学内でオンライン授業を受けられるよう、受講用の教室を用意しました。オンライン授業に関する疑問・質問については、大学ウェブサイトに、学生向けのQ&Aを掲載しています。授業用の教科書は、学内での購入に加え、オンラインでの注文・受け取りができるようになりました。

授業の開始に先立ち、9月下旬には、1年次生向けに、対面でオリエンテーションを実施しました。その他にも、1年次生が大学生活に慣れていけるよう、交流会やオンライン講座を春・秋学期に行っています。各学科では、授業と並行して、対面やオンラインにより、授業に関する相談・指導を行い、友達作りなど学生同士が交流する機会を設けるなど、学生と教員間の積極的なコミュニケーションに努めています。課外活動については、感染対策を行い、クラブ・サークル活動を一部再開し、実施しました。夢をかなえるセンターでは、オンラインを活用して就職活動・準備支援や社会貢献活動に関する講座等を行っています。

2021年度は、現在の感染状況を踏まえ、当面、今年度秋学期と同様のかたちで実施する方向で準備を進めております。今年度の経験を活かし、学生の学びの場として、教育の質のさらなる向上に大学全体として取り組んで参りたいと存じます。会員の皆様には、今学期の授業につきましてご報告を申し上げますとともに、来年度の授業の運営に関しまして、なにとぞご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



貸出用のPCとWi-Fiルーター

2021年度 出願可能な奨学金制度のご案内

1 日本学生支援機構給付奨学金および学費減免(修学支援新制度)※

2020年度より、「日本学生支援機構給付奨学金」と国による授業料減免の制度が始まりました。支援対象は、非課税世帯およびそれに準ずる世帯となります。年2回の募集があり、春募集は4月上旬・秋募集は10月上旬に募集予定です。給付期間は最短修業年限となりますが、年に1回家計の審査、並びに毎年度末に行う『適格認定』(短大生は年2回)により、再度成績などの審査が行われ、継続が認められます。

2 日本学生支援機構貸与奨学金※

第一種(無利子)・第二種(有利子)があり、卒業後より返還が始まります。貸与金額は設定されている金額より選択が可能で、貸与途中で金額が変更する事が可能なため、多くの学生が利用しています。募集は4月上旬の予定です。貸与期間は最短修業年限となりますが、毎年度末に行う『適格認定』により、再度成績や家計状況などを審査し、次年度の継続が認められます。

3 日本学生支援機構奨学金(家計急変向け)※

家計急変の事由により出願できる制度です。貸与奨学金、事由によっては給付奨学金への出願が可能です。出願は随時となります。ご相談は学修・生活支援課奨学金担当までお願いします。

4 相模女子大学奨学金※

本学独自の奨学金で、1年間の授業料相当額を無利子で貸与します。(ただし、卒業年次生に限り学費相当額の貸与が認められる場合あり。)貸与期間は1年ですが、『継続願』提出者に対しては、再度成績や家計状況などを審査し、継続が認められます。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

5 相模女子大学緊急給付奨学金※

修学の意思があるにも関わらず、家計急変などの経済的理由により修学が困難な学生に給付し、就学継続を支援します。原則、在学中1回限りとし、当該学期授業料相当額を給付します。

6 相模女子大学同窓会(翠葉会)卒業時緊急奨学金※

卒業年次に在籍し、経済的理由により卒業が困難となる者に対して貸与をします。募集時期は、例年1月です。詳細は、同窓会(翠葉会)事務局にお問合せください。

※詳細は、本学ホームページ(ホームページ→キャンパスライフ→奨学金)をご覧ください。併せて、日本学生支援機構奨学金については、日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先

1~5 学修・生活支援課: 042-813-5069

6 同窓会(翠葉会)事務局: 042-742-1737

2021(令和3)年度 学年暦【大学】

2021(令和3)年	期末定期試験期間
3月27日(土)~30日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	7月28日(水) 春学期授業終了
4月1日(木)・2日(金)・3日(土)・5(月) 新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)	7月29日(木)~31日(土) 春学期期末定期試験期間
4月5日(月)・8日(木)・9日(金) 健康診断(在学生)	7月29日(木)・30日(金) レポート提出日
4月6日(火) 健康診断(新入生)	8月1日(日)~9月19日(日) 夏季休業
4月7日(水) 入学式	9月8日(水) 春学期成績発表
4月8日(木) 春学期Web履修科目確認日	9月8日(水)・9日(木)・10日(金) 秋学期Web履修科目登録期間
4月8日(木) クラス会(新入生)	9月15日(水) 秋学期Web履修科目確認日
4月9日(金) 春学期履修科目優先追加登録	9月16日(木) 秋学期履修科目優先追加登録
4月12日(月) 春学期授業開始	9月17日(金) 春学期卒業式
4月19日(月)・20日(火) 春学期履修科目追加・訂正期間	9月20日(月) 秋学期授業開始
4月29日(木) 祝日(昭和の日) 祝日授業	9月20日(月) 祝日(敬老の日) 祝日授業
7月22日(木) 祝日(海の日) 祝日授業	9月23日(木) 祝日(秋分の日) 祝日授業
7月23日(金) 祝日(スポーツの日) 祝日授業	9月27日(月)・28日(火) 秋学期履修科目追加・訂正期間
7月22日(木)~28日(水) 春学期最終授業週および春学	10月18日(月) 創立記念日
	11月2日(火)~5日(金) 相生祭(2日準備、5日片付け)授業なし

11月23日(火) 祝日(勤労感謝の日) 祝日授業
12月24日(金) 秋学期前半授業終了
12月25日(土)~1月11日(火) 冬季休業
2022(令和4)年
1月12日(水) 秋学期後半授業開始
1月15日(土)・16日(日) 大学共通テスト
1月19日(水)~25日(火) 秋学期最終授業週および秋学期期末定期試験期間
1月25日(火) 秋学期授業終了
1月26日(水)~28日(金) 秋学期期末定期試験期間
1月26日(水)・27日(木) レポート提出日
2月14日(月) 卒業年次生成績発表
3月10日(木) 卒業式
3月15日(火)・16日(水) 秋学期成績発表、在学生オリエンテーション
3月25日(金)~28日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)

2021(令和3)年度 学年暦【短大】

2021(令和3)年	期末定期試験期間
3月27日(土)~30日(火) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)	7月28日(水) 春学期授業終了
4月1日(木)・2日(金)・3日(土)・5(月) 新入生オリエンテーション、春学期Web履修科目登録指導・登録期間(新入生)	7月29日(木)~8月2日(月) 春学期期末定期試験期間
4月5日(月)・8日(木)・9日(金) 健康診断(在学生)	7月29日(木)・30日(金) レポート提出日
4月6日(火) 健康診断(新入生)	8月3日(火)~9月19日(日) 夏季休業
4月7日(水) 入学式	9月8日(水) 春学期成績発表
4月8日(木) 春学期Web履修科目確認日	9月8日(水)・9日(木)・10日(金) 秋学期Web履修科目登録期間
4月8日(木) クラス会(新入生)	9月15日(水) 秋学期Web履修科目確認日
4月9日(金) 春学期履修科目優先追加登録	9月16日(木) 秋学期履修科目優先追加登録
4月12日(月) 春学期授業開始	9月17日(金) 春学期卒業式
4月19日(月)・20日(火) 春学期履修科目追加・訂正期間	9月20日(月) 秋学期授業開始
4月29日(木) 祝日(昭和の日) 祝日授業	9月20日(月) 祝日(敬老の日) 祝日授業
7月22日(木) 祝日(海の日) 祝日授業	9月23日(木) 祝日(秋分の日) 祝日授業
7月23日(金) 祝日(スポーツの日) 祝日授業	9月27日(月)・28日(火) 秋学期履修科目追加・訂正期間
7月22日(木)~28日(水) 春学期最終授業週および春学	10月18日(月) 創立記念日
	11月2日(火)~5日(金) 相生祭(2日準備、5日片付け)授業なし

11月23日(火) 祝日(勤労感謝の日) 祝日授業
12月24日(金) 秋学期前半授業終了
12月25日(土)~1月11日(火) 冬季休業
2022(令和4)年
1月12日(水) 秋学期後半授業開始
1月15日(土)・16日(日) 大学共通テスト
1月19日(水)~25日(火) 秋学期最終授業週および秋学期期末定期試験期間
1月25日(火) 秋学期授業終了
1月26日(水)~29日(土) 秋学期期末定期試験期間
1月26日(水)・27日(木) レポート提出日
2月14日(月) 卒業年次生成績発表
3月10日(木) 卒業式
3月15日(火)・16日(水) 秋学期成績発表、在学生オリエンテーション
3月25日(金)~28日(月) 春学期Web履修科目登録期間(在学生)

お知らせ

学修上(履修・成績)の留意点

履修登録の際には、所属する学部学科および資格課程において定められている履修方法、各授業科目のシラバスを参照しながら履修計画を立てます。各セメスターで履修登録できる単位数は24単位で、年2回履修登録期間があります。履修登録はWeb上で行いますが、履修登録がないと授業に出席していても評価対象となりません。学生には履修登録期間後は、必ず「履修登録確認表」で誤りがないか確認するよう指導しています。

また、進級(栄養科学部のみ3年次への進級要件あり)、卒

業のためには各学科で定めている授業科目や単位数を修得しなければなりません。同一学科でも入学年度(カリキュラム年度)によって進級や卒業要件は異なります。この詳細は「Student Handbook」で確認できます。

なお、成績発表は、学生は学生ポータルサイト「Smile Sagami」で確認できます。保証人宛には「成績通知書」をお送りしています。

問い合わせ先

学修・生活支援課
042-813-5069

保健センターより

学生みなさんに健康でいきいきとした学生生活を過ごしていただくため、健康に関する相談に応じています。体調を崩したとき、不安を感じたり精神的に疲れたときなど、気軽に保健センターを利用するようお勧めください。なお、保護者の方からのご相談にも応じていますのでご利用ください。

定期健康診断

全学年を対象に定期健康診断を実施しています。学生健康診断の実施は学校保健安全法で定められており、病気の予防措置などを目的としています。健康診断の結果によっては呼び出しを行います。SmileSagamiの個人宛てお知らせを必ず確認するようお声がけください。学生本人に連絡が取れない場合は保護者に連絡する場合があります。

学校感染症予防について

新型コロナウイルス感染症への対応については、長期的に感染対策を行っていくことが必要です。手洗い・手指消毒、マスク着用や咳エチケットなどの基本的な感染予防対策の徹底を、ご家庭でもご指導ください。

また、大学での集団感染防止のため、以下の感染症については母子手帳で予防接種歴の確認をお願いします。抗体価が十分でない場合は予防接種を受けるようにお願いします。

- 麻疹 ●風疹 ●水痘(みずぼうそう)
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

※MRワクチンは麻疹と風疹の混合ワクチンです
※一部の学科では、抗体価が不十分な場合は実習に参加できません

健康支援

- 病気やけがの応急手当 ※医療機関の受診が必要な場合があります。保険証は本人が所持するようご指導ください。
- 感染症対策、生理痛、アルコール、禁煙、薬物依存などに関連した保健活動
- 学校医(内科 1回/月)、精神科医(1回/週 要予約)による健康相談(医師不在時はスタッフがお話を伺います)
- 病気や障がいによる学校生活上の支援

学生教育研究災害傷害保険

全学生を対象に、Bタイプ(1200万)通学特約に加入しています。正課中の講義、実験、実習、学校管理下で実施される行事中に生じたけがが対象となります。個人で任意加入する学生総合保険などについては大学への申請は不要です。ご自身で保険会社に問い合わせをお願いします。

詳細については、入学時配付の『学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり』をご覧ください。

問い合わせ先

保健センター
042-747-9072(直通)

開室時間:平日9:00~18:00/9:00~17:00(授業・テスト期間外)
土曜日9:00~12:30 場所:夢をかなえるセンター3階

学生相談室より

学生相談室では、学生が大学生活をこころ豊かに充実して送れるよう、臨床心理士の資格をもったカウンセラーがしっかりと話を伺い、サポートしていきます。

- 学業について ●進路について ●心の健康について
- 対人関係について ●生活上の問題について
- サークルについて ●その他どのようなことでも構いません

特に相談がなくても、談話室でゆっくりと静かな時間を過ごすことができます。お気軽にご利用ください。ご家族から、学生についてのご相談もお受けします。相談内容について秘密は守られます。

問い合わせ先

学生相談室
042-746-6672(直通)

開室時間:月~金 10:00~17:00 場所:1号館2階

クラブ活動報告

チアリーディング部

チアリーディングはスタンツと呼ばれる人を持ち上げる技をメインにタンブリングやダンスを取り入れた演技を行います。より多くの技が練習できるよう、2019年度から清泉女子大学S.S.S.と合同チームを組んでいます。部員は経験者だけでなく大学から運動を始めた初心者もあり、先輩やGRAM-PUS卒業のコーチ指導のもと文化祭やイベント、年に3回行われる大会に向けて、一人一人の存在を大切に、学年を越えて和気あいあいと活動しています。

多くの技に挑戦していく中で絆が生まれ、練習した成果や大会で良い結果を残すことができた時には達成感を感じ、チアリーディングとして人を笑顔にするだけでなく、自分たち自身もチアリーディングから笑顔や団結力などたくさんのおもいをもらいます。



体育館での練習風景

2020年度の活動は例年とは異なりましたが、オンラインでの活動を取り入れ部員同士のコミュニケーションの場を絶やさず、10月には関東大会に出場し、限られた練習時間の中で励まし合い作り上げた演技を良い結果として残すことができました。この先、文化祭やイベント・大会など、私たちのカラーとチーム力を魅せることができる日のために、引き続き、部員一同懸命に取り組んでいきます。

チアリーディング部 部長 小林 英未

オリエンテーリング部

オリエンテーリングとは、森や公園、町の中を地図とコンパスを持って、地図に書かれたチェックポイントを順番にまわりその合計タイムを争うスポーツです。

私たちオリエンテーリング部は、新たに新入生5人を加え計12人、学年・学科問わず仲が良く楽しく部活動をしています。平日の練習では週2回学内でランニングや地形や森の特徴を地図で正確に読むための地図トレを行い、週末では、栃木県や静岡県など他県へ行って練習会や大会に参加して実践練習を行ないます。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で課外での活動がなかなか思うようにできませんでした。試行錯誤しZoomや限られた学内でのトレーニングやフォレスト練習を重ねた結果、4年生の先輩はインカレ選手



最後まで力強く、仲間の元へ

権の部出場を果たし、その他の大会では各自自分の全力を出し切ることができました。

来年は、悔いが残らず、自分が納得のいくレースができるように日々練習に励みたいと思います。

オリエンテーリング部 部長 田中 恵子

マンドリンクラブ

私たちマンドリンクラブは、年に2回の演奏会開催に向けて練習をしています。また入学式や卒業式、クリスマスコンサートでの演奏、相生祭では模擬店を出店するなど、1年を通して様々な活動を行っています。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により対面での練習ができなくなりました。オンラインで話し合いや練習を重ねましたが、年に2回の演奏会開催は断念しました。2020年は、お客様の前で演奏できる機会がなく非常に悔しく残念な一年となりました。

11月から対面での活動を再開し、引退する先輩方を全員で演奏して送り出すことができました。先輩方が引退することで部員数が減るため、新入生勧誘に力を入れたい



新入部員との練習の様子

と考え、新入生オリエンテーション時のクラブ紹介に参加しました。その後もSNSを通して情報を発信し続けたことで新入生の入部に繋がりました。

現在は、活動制限がある中で新入部員の指導を中心に練習を重ねています。来年度は皆様に演奏をお届けできることを切に願い、これからも活動に励んでいきます。

マンドリンクラブ 部長 佐藤 彩葉

2020 (令和2) 年度 課外活動奨励賞受賞者一覧

この賞は、様々な課外活動の分野で顕著な活躍をした学生(個人および団体)を、
大学と後援会が共同して表彰することにより、広く学生全体の課外活動を奨励することを目的としています。

個人		
個人名	所属学科	表彰内容・理由
早乙女 佳音	人間心理学科 4年	1年次にノートイク講習会を受講し、2年次から4年次まで学生ノートテイクとして活動を続けた。ノートテイクをする際には、事前に担当する授業の予習を行い、授業内容の理解に努め、15回の授業に対して熱心に取り組んだ。また、ノートテイク講習会に先輩学生として参加し、学生ノートテイクの普及活動にも貢献した。
坂口 恵梨	英語文化 コミュニケーション 学科 3年	コロナ禍の中でも学外のコンテストに積極的に挑戦し、公益財団法人勤労青少年躍進会・一般社団法人日本勤労青少年団体協議会主催「若者を考えるつどい2020」(後援:厚生労働省、他)における「働くって何だろうエッセイコンテスト」に応募し、作品名「コロナを機に叶えたい夢」で全国1,300編以上の応募の中から奨励賞を受賞した。
三角 香奈	日本語日本文学科 4年	日本語および日本語を学ぶ学習者に対して関心を抱き、目標をもって意欲的に学び、「日本語教育能力検定試験」(令和元年度)に見事合格した。この試験は合格率が約20~30%程度の難易度が高い試験であり、受験者の半数以上は現役の日本語教員、学校教員等で、大学生・短大生の受験者数が極めて少ない中で合格したことは大きな快挙と言える。

団体	
団体名(所属学科)	表彰内容・理由
中山間地域活性化活動チーム (英語文化 コミュニケーション学科)	英語文化コミュニケーション学科学生の有志により2020年2月~12月に長野県、北陸地方を中心に感染対策をしながら地域貢献活動を行った。 1. 全国エコツーリズム学生シンポジウムに応募しテーマ「コロナ禍におけるエコツーリズムの可能性ー長野県栄村でのエコツアー企画とワーケーション・遠隔授業実証実験の試みー」が全国13大学からの応募から口頭発表枠3大学に選出され、東京都内にて口頭発表を行った。 2. 富山県庁、NPOグリーンツーリズム富山とチーム学生の協働で、富山県氷見市論田・熊無地区等で、地域活性化活動として11日間のフィールドワークと地域住民とのワークショップを行った。 3. 長野県栄村で自治体、旅館と協働し、チーム学生によるエコツアー企画とワーケーション・遠隔授業実証実験を15日間実施した。朝日新聞、長野放送の取材を受け社会から大きな反響があった。また、国土交通省「誘客多角化等のための滞在コンテンツ造成」実証事業に「秘境秋山郷マタギ文化発信地化計画事業」として採択され、12月に実証ツアーを開催した。 コロナ禍で活動が制限される中、政府の推進する地方創生、地域活性化の提案を学術的かつ実践的な内容に高め、相模女子大学の教育重要点である「発想力」を発揮した活動と成果を社会に広く知らしめた。
コンテスト2020チーム (英語文化 コミュニケーション学科)	コロナ禍の中、一般財団法人発明学会主催「第24回 身近なヒント発明展」の複数の発明案にエントリーし、『常にcleanなPush out ブラシ』で奨励賞、『2個持ちなんてさせない!3変化エコバック』と『小物や衣類を埃から守る3SBOX(Something、Soft、Snazzy)』で努力賞を受賞した。町田市主催「まちだ未来ビジネスコンテスト2020」では、ファイナルに進み、社会人と一緒に競い、大賞とオーディエンス賞を受賞した。他にもソニー株式会社主催「U24 CO-CHALLENGE 2021」、相模女子大学主催「さがみ発想コンテスト」等、学生同士お互いに切磋琢磨しながら様々なコンテストにチャレンジした。
コロナ対応オンライン 模擬授業学生ヘルプチーム (英語文化 コミュニケーション学科)	オンライン授業のスタートとその準備を進めるために、自ら協力を申し出て、学科各担当教員と協力し、『コロナ対応オンライン模擬授業』への学生参加の呼びかけを行い、結果的に英語コミュニケーション学科在校生356名の招集と当日のスムーズな運営につながった。コロナ禍でも出来る事を見つける強い気持ちを持て、在学のために真摯に取り組む姿勢は、他の学生の見本となった。
サンタブプロジェクト・さがみはら (日本語日本文学科・ 人間心理学科・食物栄養学科)	サンタブプロジェクトは、クリスマスを病院や施設で過ごす子ども達へ本とメッセージを届ける活動で、2012年から書店と地域に暮らす市民の方々の協力を得て行っている。2020年度はコロナ禍により規模を縮小したが、このような状況でも多くの学部・学科の学生が本プロジェクトに賛同し、77冊の本を相模原南児童ホームへ届けた。

2020 (令和2) 年度 科学研究費助成事業採択状況

所属学科	教員名	職位	研究種目・研究課題名		
日本語 日本文学科	下田 章平	講師	基盤研究 (C) 基盤研究 (B)	研究代表者 研究分担者	関西中国書画碑帖コレクション形成の研究ー未公開資料の分析を中心としてー近代東アジアにおける「書壇」形成の地域比較研究
	南 明日香	教授	基盤研究 (C)	研究代表者	ジャポニスム以後の浮世絵評価の比較研究ー永井荷風と小島烏水を中心に
	宮原 志津子	准教授	基盤研究 (C)	研究代表者	公共図書館員のコンピテンシー獲得を目的とした図書館実習ガイドラインとモデルの提案
英語文化 コミュニケーション学科	九里 徳泰	教授	基盤研究 (C)	研究代表者	日本における女性社会進出と企業活動ー女性社会進出指標と企業パフォーマンスを中心に
	小泉 京美	教授	基盤研究 (C)	研究代表者	アジアにおける邦人現地採用のキャリアパスと日系海外現地法人の人材雇用戦略の研究
	宮本 節子	准教授	基盤研究 (C)	研究代表者	インバウンド旅行者のための日本語学習教材の開発: 話者同士の平等性希求の観点から
	渡辺 幸倫	教授	基盤研究 (B) 基盤研究 (C) 基盤研究 (C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	越境する日本人国際結婚家庭の教育意識ーアジア五か国でのライフストーリーから旧日本委任統治領「ミクロネシア地域」の歴史教育に関する研究 インバウンド旅行者のための日本語学習教材の開発: 話者同士の平等性希求の観点から
子ども教育学科	宇田川 久美子	教授	基盤研究 (C)	研究代表者	保育における遊びの「おもしろさ」に関する研究
	七海 陽	准教授	基盤研究 (B)	研究分担者	デジタル・シティズンシップ育成に資する保護者による幼児への介入ー発達段階への着目
	荻本 快	准教授	若手研究	研究代表者	メンタライジングを測定する内省機能尺度(RFQ)の日本語版の開発
メディア情報学科	池下 花恵	准教授	基盤研究 (C)	研究代表者	創作アプリが言語活動にもたらす要因と読み書き支援への応用
	今井 さやか	教授	基盤研究 (C)	研究代表者	津波デジタルライブラリを基盤とした防災教育支援システムの構築
	加藤 由樹	教授	基盤研究 (C) 基盤研究 (C)	研究代表者 研究分担者	mラーニングの感情面支援のためのコミュニケーション過程の感情伝達に関する基礎研究 集合知によるマンガ要約テストの確立と、その評価基準を用いたマンガ要約ソフトの開発
	岩下 朋世	教授	挑戦的研究(萌芽)	研究分担者	「2.5次元文化」における参加型文化による嗜好共同体構築に関する研究
生活デザイン学科	角田 千枝	准教授	基盤研究 (C)	研究分担者	障害者の修正衣服ガイドライン作成に向けた更衣と座位姿勢に適したズボンの製作と評価
	門屋 博	教授	基盤研究 (C) 基盤研究 (C)	研究分担者 研究分担者	複合情報を持つ汎用的都市空間シミュレーションシステムの開発と評価 アンビルト作品の可視化に向けた創造的アート・アーカイブの試み
社会 マネジメント学科	中西 泰子	准教授	基盤研究 (C)	研究代表者	世代間ケアに関する意識変化の解明: 複数データの二次分析に基づく検証
人間心理学科	後藤 和宏	准教授	基盤研究 (C) 新学術領域研究(研究領域提案型)	研究代表者 研究代表者	数量認知の進化的起源 メタ認知的コントロールの比較認知
	日戸 由刈	教授	基盤研究 (C) 基盤研究 (B) 基盤研究 (C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	自閉スペクトラム症児者同士の仲間集団が社会性の発達とQOLに及ぼす影響 自閉症のコミュニケーション障害に対する自閉的共感の多角的検討 自閉スペクトラム症児者の認知特性と言語コミュニケーションにおける選好性
	芝田 征司	教授	基盤研究 (B)	研究分担者	インクルーシブなプレイス・アタッチメント指標を用いた建築計画学研究
	山本 絵里子	講師	若手研究	研究代表者	舞踊の発達の起源の検討
健康栄養学科	奥村 裕司	教授	基盤研究 (C) 基盤研究 (C)	研究代表者 研究分担者	宿主酵素を標的分子とした新規治療薬の開発: 高病原性ウイルス感染症の新たな制御法 骨密度関連SNPs近隣由来のmiRNAsによる骨代謝制御の検討
	嶋田 昌子	教授	基盤研究 (C) 基盤研究 (C)	研究代表者 研究分担者	骨密度関連SNPs近隣由来のmiRNAsによる骨代謝制御の検討 宿主酵素を標的分子とした新規治療薬の開発: 高病原性ウイルス感染症の新たな制御法
	榎本 ヒカル	教授	基盤研究 (C)	研究分担者	和の住まい方教育に関する基礎的研究~和の生活文化の継承と創造を目指して~
	鶴崎 美徳	准教授	基盤研究 (C)	研究分担者	舌発生異常を伴う症候群における舌形態診断のための研究
	海和 美咲	助手	若手研究	研究代表者	疑似的他者の存在によるおいしさや脳活動の変化についての研究
管理栄養学科	黒岡 尚徳	教授	基盤研究 (C)	研究分担者	消化管上皮の領域特異的な発生と分化を制御する分子基盤の解明
	今井 敦子	講師	若手研究	研究代表者	母マウスの食餌誘導性肥満が仔マウスの「免疫老化」に及ぼす影響
食物栄養学科	笹田 周作	准教授	基盤研究 (C)	研究代表者	スプリントパフォーマンスの向上を引き起こす人工的な体性感覚技術の開発